

シラバス参照

科目名	日本史概説 I
配当年次	3年次
開講期間	前期
単位数	2
担当教員	石井 龍太(イシイ リョウタ)
期間・曜日・時限・教室	前期 水曜日 1時限 17-202

※	
授業の目的・目標	<p>【授業の概要】: 日本列島を舞台として、数万年に及ぶ人間の歴史が営まれてきた。現代日本は歴史教育に比較的熱心で、また多くの人が歴史に興味を持っている。しかし小・中・高校時代に学ばれる歴史、商業目的のメディアが取り上げる歴史は、偏った一面的な内容であることも否めない。この講義では、日本列島を舞台に展開した特色ある人類史を様々なテーマから考えていく。日本列島の人間がどう生きてきたのか、その生業に焦点を当てて見ていく。また比較の視座を重視し、世界の事例も踏まえて論じる。</p> <p>【授業の目的】: 世界の中の日本を歴史的に理解できるようになることを目的とする。</p> <p>【習得できる力】: ① 知識 ⑤ 論理的思考力 ⑪ 生涯学習力</p> <p>【授業の到達目標】: 講義を通じ、一步踏み込んだ日本史の知識と歴史観を獲得し、幅広い教養と地域社会や国際社会で活躍するための基礎的能力を習得することを全体の到達目標とする。</p> <p>【実務経験と授業内容との関連】: 博物館勤務経験を活かし、美術館展示を通じたアクティブラーニングを展開する。</p>
準備学習等の指示	<p>この授業は1回の授業につき3時間の準備学習が必要です。</p> <p>課題の提出は、Teams, WebClass等のLMSを用います。</p>
講義スケジュール	<p>■1回目 【テーマ】「日本史」とは何か？ 【到達目標】 本講義のテーマである「日本」と「歴史」について、それが如何に曖昧なものであるかを踏まえた上で、日本史を学ぶ意味について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■2回目 【テーマ】 日本列島史の概観1 先史時代の日本列島 【到達目標】 歴史とは何かについての概説を踏まえた上で、日本における人類史の誕生に当たる日本列島への人類渡来と初期の活動について、深く理解することを目標とする。 【準備学習】 提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■3回目 【テーマ】 日本列島史の概観2 古代中世の日本列島 【到達目標】 獲得経済から生産経済への移行、そして国家形成へと進む日本の古代史、中世史について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■4回目 【テーマ】 日本列島史の概観3 近世近代の日本列島 【到達目標】 武家政権の確立する中世期から、近代化を経て国際的地位を得つつ展開する日本列島の近現代史までについて深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■5回目 【テーマ】 農の日本史1 列島農耕史のはじまり 【到達目標】 日本列島史の大変革期である農耕社会の展開が如何なる社会的背景のもとなされ、どのような影響を及ぼしたのかについて深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回までの講義内容を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■6回目 【テーマ】 農の日本史2 列島戦争史のはじまり 【到達目標】 日本列島で展開した農耕社会が背景になっているとされる戦争の始まりについて、深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回までの講義内容、特に「日本列島史の概観」を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■7回目 【テーマ】 肉食の日本史1 日本列島の狩猟 【到達目標】 獲得経済の代表例と言える動物資源の獲得について、日本列島でどのような展開があったのかについて深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回までの講義内容、特に「日本列島史の概観」を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■8回目 【テーマ】 肉食の日本史2 肉食と宗教 【到達目標】 肉食が古代に入り忌避されるという東アジアにおいても稀な歴史的展開が如何なる背景によるものであるか、また近代に入り何故解禁されていくのかについて、当時の社会情勢を踏まえつつ深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回までの講義内容、特に「日本列島史の概観」を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p>

	<p>■9回目 【テーマ】 災害の日本史1 地震と火災 【到達目標】 日本を見舞う多くの災害の中でもとりわけ多い地震災害について、過去の事例を取り上げつつ深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回までの講義内容、特に「日本列島史の概観」を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■10回目 【テーマ】 災害の日本史2 火山災害 【到達目標】 稀ではあるが甚大な被害を引き起こす火山災害について、江戸時代の浅間山の事例を取り上げつつ詳細を知り、深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回までの講義内容、特に「日本列島史の概観」を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■11回目 【テーマ】 都市・都城の日本史1 西洋社会の都市 【到達目標】 西アジアに始まり、西洋社会へと広まった都市について、その構造と歴史的展開を深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回までの講義内容、特に「日本列島史の概観」を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■12回目 【テーマ】 都市・都城の日本史2 東洋社会の都城 【到達目標】 古代中国に始まり、日本列島へと広まった都城について、その構造と歴史的展開を深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回までの講義内容、特に「日本列島史の概観」を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■13回目 【テーマ】 移民の日本史1 近代移民の開始 【到達目標】 日本列島外で展開した日本人の歴史である移民史について、近代の事例を取り上げ深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回までの講義内容、特に「日本列島史の概観」を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■14回目 【テーマ】 移民の日本史2 移民政策と太平洋戦争 【到達目標】 ハワイ、北米移民が難しくなる中で、国家と経済の都合からアジア、中南米へと広がっていった移民たちの近現代史について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回までの講義内容、特に「日本列島史の概観」を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■15回目 【テーマ】 まとめ 【到達目標】 これまでに扱った内容全体を振り返り、比較の視座を踏まえて日本史がどの様に理解できたかを確認することを目標とする。 【準備学習】 これまでに扱った講義内容を復習し、また提示された参考文献に目を通しておくこと。</p>
教科書	特に指定しませんが、講義中に紹介する参考文献を積極的に参照して下さい。
参考文献	佐原真 2005年『戦争の考古学』岩波書店 江原絢子 石川尚子 東四柳祥子 2009年『日本食物史』吉川弘文館 関俊明 2010年『シリーズ「遺跡を学ぶ」075 浅間山大噴火の爪痕・天明三年浅間災害遺跡』新泉社 藤崎康夫編 山本耕二(写真) 1997年『日本人移民』1-4 日本図書センター
授業の方法	授業方法として下記のアクティブラーニングの手法を実践します。 ・反転授業 ・実習、フィールドワーク なお、本授業では授業の双方向性と皆さんの学びを可視化するために、Teams等でのチャット機能やFormsを活用した授業を実施します。
成績評価方法	【評価方法】平常点(授業への参画、受講態度)と試験・レポートで評価します。 【割合】平常点50%、試験・レポート50% 【基準】授業内容に関する深い理解を獲得することが出来たか。 【フィードバック方法】なお、課題等については、 ・実技・実習後、全体に向けてコメントします。
オフィスアワー	開講日の昼休み
居室	17-512
ホームページ	城西大学経営学部 石井龍太研究室
その他特記事項	【ナンバリング : HIS201J】
添付ファイル	